

第81期（平成15年4月～平成16年3月）
決算説明資料



平成16年5月
証券コード：2264

当資料の構成

第81期決算の概況

単体決算関連

- (1) 要約損益計算書
- (2) 要約貸借対照表
- (3) その他

連結決算関連

- (1) 要約連結損益計算書
- (2) 要約連結貸借対照表
- (3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書
- (4) その他

次期業績予想関連（平成17年3月期）

当資料の表示等に関する注記

当期・・・平成16年3月期、前期・・・平成15年3月期
 金額の表示単位・・・表示単位未満切捨て
 前年差、前年比・・・それぞれ対前年増減額、増減率を示す
 なお、における「前年」は「平成16年3月期」を示します。

第81期決算の概況

損益計算書

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当 期	前年比	当 期	前年比	当 期	前 期		
		売上比		売上比				
売上高	456,808	100.0	1.2	565,543	100.0	+1.3	1.24	1.21
営業利益	7,751	1.7	16.5	13,226	2.3	4.1	1.71	1.49
経常利益	10,033	2.2	6.9	15,136	2.7	+2.8	1.51	1.37
当期純利益	3,814	0.8	+15.6	6,460	1.1	+34.1	1.69	1.46

貸借対照表

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当 期	前年比	当 期	前年比	当 期	前 期		
		構成比		構成比				
総資産	262,059	100.0	+2.8	318,356	100.0	+3.4	1.21	1.21
負債	192,852	73.6	+1.3	226,217	71.1	+1.4	1.17	1.17
少数株主持分	-	-	-	2,304	0.7	11.2	-	-
資本	69,206	26.4	+7.2	89,834	28.2	+9.0	1.30	1.28

連結の範囲等

	当期	前期
連結子会社	38社	38社
持分法適用非連結子会社	6社	6社
持分法適用関連会社	-	-

単体決算関連

(1) 要約損益計算書

(単位：百万円、%)

	当期	売上比	前期	売上比	前年差	前年比	説明
売上高	456,808	100.0	462,375	100.0	5,566	1.2	
売上原価	328,706	72.0	330,952	71.6	2,245	0.7	
売上総利益	128,102	28.0	131,423	28.4	3,321	2.5	
販売費及び一般管理費	120,350	26.3	122,139	26.4	1,789	1.5	
営業利益	7,751	1.7	9,283	2.0	1,531	16.5	
営業外収益	3,731	0.8	3,479	0.8	251	+7.2	
営業外費用	1,449	0.3	1,984	0.4	535	27.0	
経常利益	10,033	2.2	10,778	2.3	744	6.9	
特別利益	842	0.2	600	0.1	241	+40.3	
特別損失	3,186	0.7	4,553	1.0	1,366	30.0	
税引前当期純利益	7,689	1.7	6,825	1.5	864	+12.7	
法人税等	3,450	0.8	4,229	0.9	779	18.4	
法人税等調整額	424	0.1	702	0.2	1,126	-	
当期純利益	3,814	0.8	3,298	0.7	516	+15.6	

売上高の状況

(単位：百万円、%)

製品分類	金額						数量	
	当期	構成比	前期	構成比	前年差	前年比	当期	前年比
市乳計	219,399	48.1	220,168	47.6	768	0.3	965,517	+0.7
牛乳類	93,961		94,533		571	0.6		
乳飲料等	47,657		44,977		2,680	+6.0		
はっ酵乳	60,165		65,092		4,926	7.6		
プリン等	17,614		15,566		2,048	+13.2		
乳製品計	95,988	21.0	97,462	21.1	1,474	1.5	102,546	0.8
練乳	4,465		4,513		47	1.1	9,205	+0.9
粉乳	47,050		48,165		1,115	2.3	43,801	2.4
バター	12,381		12,076		305	+2.5	12,734	+3.3
チーズ	32,090		32,707		617	1.9	36,805	0.8
アイスクリーム	39,420	8.6	41,342	8.9	1,922	4.7	83,239	5.0
その他計	102,000	22.3	103,401	22.4	1,401	1.4		
飲料	32,415		32,818		403	1.2		
その他	69,585		70,582		997	1.4		
合計	456,808	100.0	462,375	100.0	5,566	1.2		

(注) 数量の単位は、乳製品はt o n、市乳、アイスクリームはk lで表示
その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類、飼料などが含まれる

主な増減要因

市乳計

- 牛乳類・・・ 普通牛乳は前年を上回ったものの、冷夏の影響を受けた
- 乳飲料類・・・ マウントレニアシリーズが好調に推移
- はっ酵乳・・・ 前期の急激な売上拡大の反動および冷夏の影響
- プリン等・・・ たっぷりクリーム&プリンの貢献

乳製品計

- 粉乳・・・ 市場縮小等による育乳の苦戦

アイスクリーム

- ピノ、MOWの好調はあったが、冷夏の影響により氷菓類が苦戦

その他計

- 流動食は好調に推移したが、ゼリー類が不調

売上総利益

販売面では、前期のヨーグルトの急激な売上拡大の反動や、冷夏の影響等によるアイスクリームの不調による売上高減少に加え、プロダクトミックスの変化による利益率の悪化があった。また生産面では、資材調達価格見直し等ローコスト化を推進したが、減価償却費の増もあり、原価率が悪化した。

販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		構成比		構成比		
主要な項目						
拡売費	62,113	51.6	63,140	51.6	1,026	1.6
広告宣伝費	5,438	4.5	5,815	4.8	377	6.5
運送費・保管料	18,376	15.3	18,187	14.9	189	+1.0
従業員給料・賞与	16,234	13.5	16,392	13.4	158	1.0
福利厚生費	2,336	1.9	2,169	1.8	167	+7.7
その他	15,850	13.2	16,434	13.5	583	3.6
合計	120,350	100.0	122,139	100.0	1,789	1.5

主な増減要因

- ・拡売費は、売上高の減少および効率的投入により減少した。
- ・その他の減少は、主として貸倒引当金繰入額の減少による。

営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		売上比		売上比		
営業外収益	3,731	0.8	3,479	0.8	251	+7.2
受取利息及び配当金	2,108	0.5	2,026	0.4	81	+4.0
投資有価証券評価損戻入益	218	0.0	-	-	218	-
雑収益	1,404	0.3	1,452	0.3	48	3.3
営業外費用	1,449	0.3	1,984	0.4	535	27.0
支払利息	1,257	0.3	1,400	0.3	143	10.3
投資有価証券評価損	-	-	163	0.0	163	-
雑損失	192	0.0	420	0.1	228	54.3

主な増減要因

- ・金融収支は借入金利率低下による支払利息の減少により改善した。
- ・上場株式の時価回復により営業外損益は約4億円改善した。

特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		売上比		売上比		
特別利益	842	0.2	600	0.1	241	+40.3
固定資産売却益	537	0.1	131	0.0	406	+309.9
退職給付会計基準変更時差異	244	0.1	244	0.1	-	-
投資有価証券売却益	60	0.0	4	0.0	56	-
厚生年金基金解散処理差額金	-	-	186	0.0	186	-
その他の特別利益	-	-	34	0.0	34	-
特別損失	3,186	0.7	4,553	1.0	1,366	30.0
固定資産処分損	748	0.2	1,116	0.2	367	32.9
(財)ひかり協会負担金	1,556	0.3	1,520	0.3	35	+2.4
投資有価証券等減損処理額	844	0.2	1,886	0.4	1,041	55.2
投資有価証券等売却損	8	0.0	24	0.0	16	64.3
関係会社整理損	-	-	5	0.0	5	-
その他の特別損失	26	0.0	-	-	26	-

主な増減要因等

- ・ 固定資産売却益・・・土地売却の増加による。
- ・ 退職給付会計基準変更時差異・・・ 1,221百万円を5年で償却。当期は4年目。
- ・ 固定資産処分損・・・生産設備を中心とした更新の減少による。
- ・ 投資有価証券等減損処理額・・・時価回復に伴い減少した。

(2) 要約貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期	前 期	前 年 差	説 明		当 期	前 期	前 年 差	説 明
流動資産	105,388	101,461	3,927		流動負債	119,287	116,483	2,804	
現金預金	6,187	2,448	3,738		手形・買掛金	52,026	55,350	3,324	
売上債権	56,098	57,597	1,499		短期借入金	4,780	12,409	7,629	
棚卸資産	23,161	22,842	318		マ-シャルパ-パ-	13,000	-	13,000	
その他	19,942	18,572	1,369		その他	49,481	48,723	758	
固定資産	156,671	153,516	3,154		固定負債	73,565	73,960	395	
有形固定資産	109,247	109,671	423		社債	50,000	50,000	-	
無形固定資産	198	199	0		長期借入金	13,720	12,345	1,374	
投資その他	47,225	43,646	3,579		その他	9,845	11,615	1,770	
					負債計	192,852	190,443	2,409	
					資本計	69,206	64,534	4,672	
資産計	262,059	254,977	7,081		負債・資本計	262,059	254,977	7,081	

主要項目の内容および増減要因

	前年差	主 な 要 因
現金預金	3,738	当期末は若干厚め、前期末はややタイトであったことによる。
売上債権	1,499	売上高の減少等による。
その他	1,369	当社グループ内金融（資金融通）の活用による短期貸付金の増加による。
有形固定資産	423	設備投資13,346百万円、減価償却費12,267百万円、滅失等1,502百万円
投資その他	3,579	投資有価証券の時価上昇による増加。
手形・買掛金	3,324	売上高減少に伴う減および支払手形削減の推進による。
借入金・社債	6,745	当期と前期の納税額の差などが影響。
その他	758	当社グループ内金融（資金融通）の活用による預り金の増加による。
その他	1,770	人員構成変化に伴う退職給付引当金の減少による。
資本計	4,672	利益剰余金の増加に加え、有価証券の時価上昇による評価差額金の増加。

(3) その他

設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額			減価償却費
	実績 (前年差)	うち生産設備 実績 (前年差)	うち販売設備 実績 (前年差)	実績 (前年差)
平成12年3月期	116	81	35	125
平成13年3月期	143 (27)	102 (21)	40 (5)	121 (4)
平成14年3月期	144 (1)	112 (10)	32 (8)	117 (4)
平成15年3月期	144 (0)	110 (2)	34 (2)	116 (1)
平成16年3月期(当期)	133 (11)	105 (5)	28 (6)	122 (6)

研究開発費の推移

(単位：百万円)

	実績 (前年差)
平成12年3月期	4,574
平成13年3月期	4,609 (35)
平成14年3月期	4,445 (164)
平成15年3月期	4,409 (36)
平成16年3月期(当期)	4,583 (174)

従業員数の推移

	9月末 実績 (前年差)	3月末 実績 (前年差)
平成12年3月期	3,891名	3,748名
平成13年3月期	3,775名 (116名)	3,661名 (87名)
平成14年3月期	3,628名 (147名)	3,482名 (179名)
平成15年3月期	3,504名 (124名)	3,352名 (130名)
平成16年3月期(当期)	3,433名 (71名)	3,257名 (95名)

注) 前年差は、それぞれ前年同期との差を示している。

集乳量の推移

(単位：千トン)

	集乳量		
	実績 (前年差)	うち北海道 実績 (前年差)	うち都府県 実績 (前年差)
平成12年3月期	700	347	353
平成13年3月期	781 (81)	372 (25)	409 (56)
平成14年3月期	769 (12)	386 (14)	383 (26)
平成15年3月期	817 (48)	423 (37)	394 (11)
平成16年3月期(当期)	820 (3)	449 (26)	371 (23)

連結決算関連

(1) 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	当期	売上比	前期	売上比	前年差	前年比	説明
売上高	565,543	100.0	558,302	100.0	7,241	+1.3	
売上原価	386,746	68.4	379,202	67.9	7,543	+2.0	
売上総利益	178,797	31.6	179,100	32.1	302	0.2	
販売費及び一般管理費	165,570	29.3	165,303	29.6	267	+0.2	
営業利益	13,226	2.3	13,796	2.5	570	4.1	
営業外収益	3,647	0.6	3,246	0.6	401	+12.4	
営業外費用	1,737	0.3	2,317	0.4	580	25.0	
経常利益	15,136	2.7	14,725	2.6	411	+2.8	
特別利益	936	0.2	862	0.2	74	+8.6	
特別損失	3,125	0.6	5,464	1.0	2,338	42.8	
税金等調整前当期純利益	12,947	2.3	10,123	1.8	2,824	+27.9	
法人税等	5,466	1.0	6,550	1.2	1,083	16.5	
法人税等調整額	873	0.2	1,260	0.2	2,134	-	
少数株主利益	146	0.0	14	0.0	131	+910.8	
当期純利益	6,460	1.1	4,818	0.9	1,641	+34.1	

売上高の状況

(単位：百万円、%)

連結事業セグメント	当期	売上比	前期	売上比	前年差	前年比
1) 食品事業	539,979	95.5	533,644	95.6	6,335	+1.2
2) その他事業	31,686	5.6	30,724	5.5	962	+3.1
消 去	6,122	1.1	6,066	1.1	56	+0.9
合 計	565,543	100.0	558,302	100.0	7,241	+1.3

「その他事業」には、飼料、プラント設備の設計施工、医薬品、不動産の賃貸、運輸、倉庫業等が含まれる

食品事業

単体は苦戦したが、(株)クリニコの好調をはじめ販売子会社も全般に好調であったことで増収となった。

その他事業

森永エンジニアリング(株)などのプラント設備の設計施工会社の増収による。

売上総利益

単体の売上数量減による売上総利益の減少を、子会社の好調が一定水準まで回復させた形となっている。

販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		構成比		構成比		
主要な項目 (販売費)						
拡売費	68,959	41.6	69,500	41.9	540	0.8
運送費・保管料	36,926	22.3	35,185	21.3	1,740	+4.9
従業員給料・賞与	17,675	10.7	17,958	10.9	283	1.6
(一般管理費)						
従業員給料・賞与	8,298	5.0	8,017	4.9	280	+3.5
地代・家賃・保険料	2,768	1.7	2,638	1.6	129	+4.9
その他	30,942	18.7	32,003	19.4	1,060	3.3
合計	165,570	100.0	165,303	100.0	267	+0.2

主な増減要因

- ・物流子会社の売上好調もあり、運送料・保管料が増加した。
- ・その他の減少は、主として貸倒引当金繰入額の減少による。

営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		売上比		売上比		
営業外収益	3,647	0.6	3,246	0.6	401	+12.4
受取利息	155	0.0	106	0.0	48	+45.5
受取配当金	1,755	0.3	1,736	0.3	18	+1.1
投資有価証券評価損戻入益	259	0.0	-	-	259	-
持分法投資利益	204	0.0	248	0.0	43	17.4
その他	1,272	0.2	1,154	0.2	117	+10.1
営業外費用	1,737	0.3	2,317	0.4	580	25.0
支払利息	1,446	0.3	1,633	0.3	187	11.5
投資有価証券評価損	-	-	183	0.0	183	-
その他	291	0.1	500	0.1	209	41.8

主な増減要因

- ・金融収支は借入金利率低下による支払利息の減少により改善した。
- ・上場株式の時価回復により営業外損益は4億円強改善した。

特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		売上比		売上比		
特別利益	936	0.2	862	0.2	74	+8.6
固定資産売却益	539	0.1	155	0.0	384	+247.9
退職給付会計基準変更時差異	118	0.0	118	0.0	-	-
投資有価証券売却益	63	0.0	4	0.0	59	-
厚生年金基金解散処理差額金	-	-	186	0.0	186	-
その他の特別利益	214	0.0	397	0.1	183	46.1
特別損失	3,125	0.6	5,464	1.0	2,338	42.8
固定資産処分損	953	0.2	1,304	0.2	351	26.9
(財)ひかり協会負担金	1,556	0.3	1,520	0.3	35	+2.4
投資有価証券等減損処理額	365	0.1	1,875	0.3	1,510	80.5
関係会社整理損	-	-	5	0.0	5	-
その他の特別損失	250	0.0	758	0.1	508	67.0

主な増減要因等

主として単体の説明に同じ。

- ・投資有価証券等減損処理額・・・単体の金額のうち、連結子会社分は消去されている。
- ・その他の特別損失・・・(前期)一部子会社が加入していた全日本乳業厚生年金基金からの脱退による損失があった。

(2) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期	前 期	前年差	説 明		当 期	前 期	前年差	説 明
流動資産	112,104	105,359	6,744		流動負債	131,902	126,760	5,141	
現金預金	10,366	6,736	3,629		手形・買掛金	60,928	62,749	1,821	
売上債権	63,774	61,893	1,881		短期借入金	11,476	19,143	7,667	
棚卸資産	29,303	28,795	507		マ-シャル ^パ - ^パ -	13,000	-	13,000	
その他	8,659	7,933	725		その他	46,498	44,867	1,630	
固定資産	206,252	202,648	3,604		固定負債	94,315	96,234	1,919	
有形固定資産	156,257	156,601	343		社債	50,000	50,000	-	
無形固定資産	966	973	7		長期借入金	20,829	20,989	159	
投資その他	49,028	45,073	3,955		その他	23,485	25,245	1,759	
					負債計	226,217	222,995	3,222	
					少数株主持分	2,304	2,596	292	
					資本計	89,834	82,416	7,417	
資産計	318,356	308,008	10,348		負債～資本計	318,356	308,008	10,348	

主要項目の内容および増減要因

	前年差	主 な 要 因
現金預金	3,629	単体の残高増の影響による。
売上債権	1,881	子会社の売上高が増加したため。
有形固定資産	343	設備投資18,448百万円、減価償却費17,020百万円、滅失等1,771百万円
投資その他	3,955	投資有価証券の時価上昇による増加。
手形・買掛金	1,821	(単体との差)子会社の売上高増に伴う仕入債務等の増加。
借入金・社債	5,173	(単体との差)グループ内金融(資金融通)の活用により子会社の借入減少。
少数株主持分	292	清水乳業(株)の親会社持分アップに伴う少数株主持分の減少による。
資本計	7,417	利益剰余金の増加に加え、有価証券の時価上昇による評価差額金の増加。

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期	前年差
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,829	37,181	19,352
税金等調整前当期純利益	12,947	10,123	2,824
減価償却費	17,063	16,332	730
投資有価証券等評価損益(益：)	106	2,064	1,958
売上債権の増減額(増加：)	1,898	50	1,949
棚卸資産の増減額(増加：)	545	1,089	1,635
仕入債務・未払費用の増減額(減少：)	536	6,403	6,939
法人税等の支払額	8,076	2,830	5,245
その他	1,230	3,947	5,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,857	25,370	7,513
有形固定資産購入額	17,046	21,973	4,926
有形固定資産売却額	1,525	227	1,297
投資有価証券の取得	598	1,191	593
その他	1,737	2,433	695
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,715	20,217	23,932
長期債務の増減額(減少：)	455	4,635	4,180
短期債務の増減額(減少：)	5,721	13,731	19,452
配当金の支払額	1,521	1,523	2
その他	29	326	297
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	10	30
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	3,646	8,416	12,063
現金及び現金同等物の期首残高	6,267	14,124	7,856
連結子会社増加に伴う期首残高増加額	-	560	560
現金及び現金同等物の期末残高	9,914	6,267	3,646
借入金・社債残高	95,305	90,132	5,173
フリーキャッシュ・フロー	28	11,810	11,838

当期は、営業活動と投資活動がほぼ同額であったため、フリーキャッシュ・フローは、ほぼフラットとなった。

(4) その他

設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額		減価償却費	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成13年3月期	189		162	
平成14年3月期	208	(19)	161	(1)
平成15年3月期	205	(3)	163	(2)
平成16年3月期(当期)	184	(21)	170	(7)

研究開発費の推移

(単位：百万円)

	金額	
		(前年差)
平成13年3月期	4,646	
平成14年3月期	4,568	(78)
平成15年3月期	4,507	(61)
平成16年3月期(当期)	4,662	(155)

次期業績予想関連（平成17年3月期）

注）当ページの「前年差」「前年比」はそれぞれ平成16年3月期との対比

単 体

（１）業績予想

（単位：百万円、％）

	通期計画			中間期計画		
		前年差	前年比		前年差	前年比
売上高	467,000	10,191	+2.2	250,000	6,238	+2.6
営業利益	10,100	2,348	+30.3	8,300	1,853	+28.8
経常利益	12,000	1,966	+19.6	9,500	1,596	+20.2
当期純利益	5,200	1,385	+36.3	4,500	1,092	+32.0

（２）部門別売上高予想

（単位：百万円、％）

	通期計画			中間期計画		
		前年差	前年比		前年差	前年比
市乳計	226,000	6,600	+3.0	120,000	3,977	+3.4
乳製品計	97,000	1,011	+1.1	47,500	612	+1.3
アイスクリーム	41,000	1,579	+4.0	28,000	909	+3.4
その他計	103,000	999	+1.0	54,500	738	+1.4
合計	467,000	10,191	+2.2	250,000	6,238	+2.6

（３）設備投資および減価償却費

設備投資： 130億円（前年差3億円の減）
 うち生産設備 100億円（前年差5億円の減）
 うち販売設備 30億円（前年差2億円の増）

減価償却費： 125億円（前年差3億円の増）

連 結

（１）業績予想

（単位：百万円、％）

	通期計画			中間期計画		
		前年差	前年比		前年差	前年比
売上高	579,000	13,456	+2.4	310,000	9,082	+3.0
営業利益	15,700	2,473	+18.7	12,000	1,940	+19.3
経常利益	17,000	1,863	+12.3	12,800	1,645	+14.7
当期純利益	7,800	1,339	+20.7	6,200	1,275	+25.9

（２）設備投資および減価償却費

設備投資： 185億円（前年差1億円の増）

減価償却費： 172億円（前年差2億円の増）

業績予想に関する注意事項

上記の予想は、平成16年5月20日の決算発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。